



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

主体的に生きる力 ～協働する力～

副校長 瀧川 文子

梅雨が明けましたが、その前から真夏日や猛暑日が続いています。学校では熱中症防止対策として、暑さ指数（WBGT）の数値を測り、その数値によって体育学習や休み時間の校庭遊びに制限をかけています。遠足や校外学習でも、帽子の着用や水筒の持参だけでなく、休憩時間を増やしたり、外での活動時間を短くしたりするなどの対策を取っています。登下校中は大人の目が届かなくなるためとても心配です。少しでも体調がすぐれないときはご家庭で様子を見て登校を控えたり、登校時刻が遅くなる場合は保護者の付き添いをしたりするなど、通常お願いしていることではありますが、改めて徹底していただくようお願いいたします。

さて、先日ある児童と話をしました。その児童は四年生。先週愛川宿泊体験学習に行き、帰校式で司会を務めていた児童です。「帰校式、がんばっていたね。」と声をかけると「愛川ふれあいの村から出るときの式もやったんだ。」との返事が返ってきました。「ほかにもあったのね。練習も大変だったでしょ。」と聞くと「うん。昨日は（役割が）なかったんだけど、今日は（役割が）あるから、緊張した。」とのこと。当日は、上手に帰校式を進めていて、終わった後みんなから拍手をもらい、ほっとした表情を見せていました。きっと自分の役割を果たすべく、友達と協力して分担を決め、その式に合わせた言葉を考え、練習をし、当日を迎えたのでしょう。そして緊張しながらも自分の役割に取り組み、周りから拍手で称賛されたことで達成感、満足感を得られたことと思います。

学校説明会にてお伝えしましたが、本校では教育活動を通して「主体的に生きる力」の育成を目指しています。その中の視点の一つに「協働（自分の意思をもって、友達と目的を一つにし、共に活動すること）」があります。先ほどの児童の姿は、愛川宿泊体験学習を成功させるという4年生全体の目的に向かって自分の役割を果たしている、まさに協働する力を培っている姿でした。もちろん、ほかの四年生もそうです。リーダーや保健係など、学校を離れた場所でもそれぞれ役割をもって当日に臨んでいました。グループのみんなに声をかける、体調不良の友達がいなか様子を見るなどそれぞれの役割に向き合い、準備をしてその役割を果たすことで、協働する力が育ったのではないかと思います。学校の外に出て学ぶ遠足や校外学習、宿泊学習では、そういった協働するチャンスが多くあります。学校でも一つ一つの学習活動をよい機会と捉え、役割を担ったり、友達と協力したりして協働する力の育成を目指し、「主体的に生きる力」につなげていきたいと思っています。ご家庭でもそういった姿を認め、お声掛けをお願いします。